

授業科目 評価学演習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
古西 勇、小林 量作、亀尾 徹 他		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60（基本評価A：20）
【概要・一般目標：GI0】 専門基礎分野で修得したことを基礎として、各種検査測定法の応用に慣れ、代表的な領域（骨関節疾患や中枢神経障害など）を想定した検査測定評価の「思考」と「技術」を修得する。					
【学習目標】 1. 患者さんへの配慮、病歴の取り方、全身状態・局所所見の把握の流れを模倣する。 2. バイタルサイン測定の手順に慣れる。 3. 形態測定、関節可動域測定、神経診察、バランス検査の手順に慣れる。 4. 医療記録を模倣する。 5. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 6. 疾患別の評価への応用を模倣する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	患者さんへの配慮、病歴の取り方、全身状態・局所所見			1, 4, 5	演習（グループ）古西、他
2	バイタルサイン測定			2, 4, 5	演習（グループ）古西、他
3	骨格系ランドマークの触診			3, 4, 5	演習（グループ）古西、他
4	形態測定（肢長と周径の測定）			3, 4, 5	演習（グループ）古西、他
5	関節可動域測定1. 上肢			3, 4, 5	演習（グループ）古西、他
6	関節可動域測定2. 下肢			3, 4, 5	演習（グループ）古西、他
7	関節可動域測定3. 肩甲帯、頸部、体幹			3, 4, 5	演習（グループ）古西、他
8	運動器疾患のある患者さんの評価			3, 4, 5, 6	演習（グループ）古西、他
9	バランス検査			3, 4, 5	演習（グループ）古西、他
10	患者さんへのバランス検査の応用			3, 4, 5, 6	演習（グループ）古西、他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	診察と手技がみえるvol.1 第2版		編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
	新・徒手筋力検査法 第8版		Hislop HJ 他	協同医書出版社	2008・7,875円
	理学療法評価学 第2版		松澤正	金原出版	2004・6,510円
参考書	ベッドサイド神経の診かた第16版		田崎義昭 他	南山堂	2004・7,560円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席、毎回の提出物、実技試験、定期試験（筆記）、その他。					